

日吉っ子

ボランティア通信

令和7年12月25日 日吉小・中学校区地域学校協働本部発行

★ゆずの収穫の手伝い★

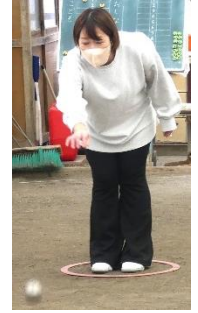
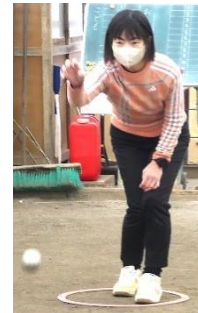
12月1日(月)に、中学1・2年生が郷土学でゆず収穫の手伝いをしました。ゆず農家の方から、「二度切りでゆずを収穫すること。」と、「とげには気を付けて作業してください。」と話がありました。

小学生の時にもゆず収穫の体験をしたことがあるので、生徒たちは慣れた手つきで、次々とゆずを収穫しました。3時間足らずでゆずをほぼ収穫することができました。そして、収穫する前は黄色に覆われていたゆず畑が、緑色になった様子を満足そうに眺めて、帰校した生徒たちでした。



★ ペタンクマイスター ★

11月20日(木)に、小学1・2年生が郷土学で、「ペタンクマイスター」を実施しました。父野川にあるペタンクハウスを訪れ、ペタンクの体験学習をしました。今から20年前に日吉地区にペタンクが普及し、日吉ペタンク協会の方々はずっと活動を続けていらっしゃるそうです。保護者の方にも御参加いただき、2チームに分かれて試合をしました。敵味方関係なく、素晴らしいプレーをした選手には拍手を送るというマナーも新たに学びました。お互いのチームが競い合い、ペタンクの楽しさを十分に体感した郷土学になりました。



★ ゆず搾汁施設見学 ★

12月1日(月)に、小学3・4年生と中学2年生が、上大野にある「JA えひめ南ゆず搾汁施設」を見学しました。鬼北営農センターの副センター長の方に、ゆずは、奈良時代に日本に伝来したことや、鬼北町は、愛媛県内で最もゆずの収穫量が多いことなどを、クイズ形式で教えていただきました。

その後は、施設内を案内していただきました。農家さんの出荷されたゆずが、様々な機械により処理される過程を見学しました。ゆずの種以外を余すところなく使用されていることや、フランスにも送っていることを学習しました。鬼北町の特産品であるゆずについて、更に学習を深めた児童と生徒たちでした。



地域の皆様、2025年も大変お世話になりました。

2026年も引き続き、日吉小・中学校をどうぞよろしく願いいたします!!